

一般質問発言通告書

議席番号 14 番

氏名 布施 賢司

答弁を求める者

市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長

(○をつける)

農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 岩多屋跡地活用の要望に対するその後の取組について

- ① 一年前、商工会議所から岩多屋跡地活用についての要望書が出されていますが、市長は直後の6月一般質問で、要望は浜田駅前周辺活性化のヒントを頂戴したような気がしていると、駅周辺の賑わいは、中心市街地の活性化に欠かせないものであると跡地活用を検討してまいりたいと答弁されました。この間、市民からも跡地活用に期待する声がありますが、閉店して一年以上経ちました。これまでどの様に検討されたのか伺います。
- ② 要望書を出された浜田商工会議所は、地理的に駅前銀天街と駅北地区、県立大学、朝日町商店街、紺屋町商店街との結節点に位置する福屋跡地に移転される予定です。利用については各世代間や企業などの交流の場となるよう、市と一緒に取組んでいきたいと要望がありますが、同じような要望をどう調整されるのか伺います。
- ③ 市として岩多屋跡地活用する、しないの判断はいつなのか伺います。

2 プレミアム付応援チケットについて

- ① これまで新型コロナウイルス感染症関連の支援策でプレミアム付「はまだ飲食・宿泊応援チケット」の発行は第4弾までありましたが、全て(1弾~4弾)発行枚数は完売され使用されたのでしょうか、市民や取扱店の反響など第4弾まで2年程続けたのですから、分析や効果など総括をするべきだと思いますが、そのことについて伺います。
- ② 応援チケット第4弾の後、コロナ禍の影響を受けた地域経済を回復させるため、全業種で利用可能なプレミアム付「はまだ応援チケット」の販売が開始されました。40%(2,000円お得)のプレミアム付のためか初日の販売開始には行列ができ、30分以上の待ち時間があったと聞いています。各会場トラブルなどなかったのか、このたびの市民優先販売期間(5月28日~6月1日)を設けた理由や冊数など、また、終了した市民優先期間販売状況の結果を伺います。

3 風力発電の取組について

- ① カーボンニュートラル推進室より、脱炭素化地域を目指して「創エネ、省エネ、畜エネでカーボンニュートラルを実現する」取組の資料が出されました。その資料の中で、浜田市は人口規模が近い28市と比べ、再エネ導入容量が一番多く、10kW以上の太陽光発電と風力発電が大部分を占めているとありましたが、その陸上風力発電の建設を巡っては、市議会に請願も提出され多めに論議致しました。その後、令和2年6月、日本風力エネルギー（株）の風車建設予定地域の変更届（予定地域は長見町）があり、建設許可申請書を関係機関に提出されたと認識していますが、その後どうなったのでしょうか。工事着工予定は2023年8月となっていますが現況をお伺います。

- ② 再生可能エネルギーの切り札として、洋上風力発電が注目されています。
日本の場合、世界第6位の排他的経済水域（EEZ）があり、海のエリヤが広く、国は洋上風力発電を日本の海に今後4,500基つくる計画をしています。海に面している浜田市も地域ならではのエネルギー資源はなにかと考えると、再生可能エネルギーの救世主となる洋上風力発電も考えられるのではないのでしょうか。地域から進める脱炭素社会をさらに進めるためにも、今から調査・研究を始めるべきだと思いますが、所見を伺います。

発言No.

13

受付No.

1

令和 4 年 6 月 2 日
9 時 00 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 8 番

氏名 川上 幾雄

答弁を求める者

(○をつける)

市長

教育長

監査委員

選挙管理委員会委員長

農業委員会会長

固定資産評価審査委員会委員長

公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 浜田市の歴史資料について

(1) 整理と保存について

浜田市には多様で多量な歴史資料が存在する。しかし、その資料が本当に整理され保存されているのだろうか。

- ① 整理はどのようにされているか問う。
- ② 保存はどのようにされているか問う。
- ③ 歴史資料の整理保存について今後の進め方を問う。

2 災害対策について

(1) 防災備蓄物資について

防災備蓄物資は備えてあれば良いというものでなく、効果的に活用できてこそ備えた価値があるものといえる。

- ① 防災備蓄物資を保存する施設の現状を問う。
- ② 防災備蓄物資の内訳を問う。
- ③ 県・国との連携を問う。

発言No. 14

受付No. 11
令和4年6月7日
9時30分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 15 番 氏名 岡本 正友

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(口をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員長

発言項目及び要旨

1 コロナ禍で表面化した地域の課題について

沈静化しつつあった浜田市の感染者数は、年明け以降に変異オミクロン株の影響から急増し、4月1日より5月の連休明けを過ぎても、高い数値の繰り返しを示して終息しそうにない様相である。しかしここにきてやっと1桁台となり落ち着きを見せている。感染予防対策の今後は、3回目のワクチン接種から5ヶ月が経過した18歳以上で基礎疾患を有する方や重症化リスクが高い方、60歳以上の方に4回目の接種が開始された。

終息の見えない不安から、自粛生活の状態が長引くことが、住民相互の交流が閉ざし、確実に慣例や地域活動の形態を大きく変容させている。そこに石油等の高騰から、食品や製品等の相次ぐ値上げによって消費物価はあがり、ウクライナ紛争がさらなる拍車をかける状態で地方における市民の生活は、より深刻な状況となっていると感じている。

続くコロナ禍で、市民の活動や生活において表面化するまちづくり(自治会活動)における課題の改善と修復など、次の世代につなぐ方策を模索すべきと思っている。

(1) まちづくり(自治会活動)の課題について

町内会長のなり手がいない事から役員の高齢化が進んでいる。職場の退職後に自由な時間が取れるとした想定は、消費者物価指数等の上昇も関係し年金では暮らせない状況で、何らかの職に就く実態から会長職の引継ぎの約束が反故される話を伺う。自治会活動における課題の現状認識を問う。

(2) 新たな感染症予防のルールについて

パンデミック(世界的大流行)後について、最近日本においてもマスクの脱着などが話題となってきている。また動物もコロナ感染症にかかる報告からも、その対策について、場面に即した感染症予防のルールの必要性を感じるが、所見を伺う。

2 これからの地域スポーツの振興について

スポーツ庁は、危険因子に関連する非感染症疾病と外因による死亡数は喫煙が13万人で1位、高血圧が10万人で2位、そして3位に運動不足が原因で毎年5万人が死亡している現状を示し、スポーツの力で運動不足を解消させ、医療費の抑制を目的に支援をしている。また近年は新型コロナウイルス感染症による社会活動の低下や、学校の働き方改革を踏まえた部活動改革についてなど、新しい生活様式に対応した地域スポーツ環境の基盤強化に対する支援が示されている。

(1) 中学校の部活動の地域移行とスポーツ振興について

先般、令和5年度以降の浜田市中学校体育連盟活動において、浜田市総体の廃止と浜田市新人総体の廃止の見直し内容が示されている。学校の働き方改革を踏まえた部活動改革であると認識をするが、人間形成の場でもある部活動の意義や課題を補完できる環境整備、改革の方向性と具体的な方策を問う。

(2) 浜田のスポーツ振興支援について

市民の運動環境に関わる組織として浜田市体育協会があり、競技スポーツや総合型地域スポーツクラブ、スポ少や小体連や中体連等がその傘下にある。また福祉施策では、ウォーキングをはじめ健康体操など、健康増進に努めているが、浜田市民のスポーツ実施率の現状認識を問う。

(3) 地域スポーツの推進と人材育成について

2030年に島根県で開催される国民スポーツ大会の戦略会議は、各スポーツ競技団体に対して、選手の競技力強化向上のマネージメントや、審判員記録員等の競技役員の育成を要請している。競技人口の減少や競技役員の高齢化の現状の改善を図る上でも、指導者や競技役員の人材育成を図る必要性を感じるが所見を問う。

発言No.

15

受付No.

12

令和4年6月7日
9時40分 受付

一般質問発言通告書

議席番号 1 番

氏名 肥後 孝俊

答弁を求める者
(○をつける)
委員長

○市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会

発言項目及び要旨

入梅時期となり大雨が今年も降るのかと、憂慮に堪えない住民が多数居られる中洪水浸水対策と土砂災害対策について伺う事と併せて、少し先の浜田市の未来を夢見て質問させていただきます。

1 近年多発する自然災害への防災対策について

(1) 避難行動要支援者(災害時要支援者)への避難情報周知について

- ① 防災無線が有効な場面について伺う
- ② 補完する周知方法について伺う
- ③ 個別受信機を要支援者宅へ設置した場合の試算はされているのか伺う

(2) 避難所のあり方について

- ① 避難所で停電が発生した場合の対処について伺う

(3) 治山・治水対策の今後の計画について

- ① 砂防ダム・治山ダムの点検状況について伺う
- ② 土砂の撤去状況について伺う
- ③ 河川浚渫の進捗状況について伺う
- ④ 道路排水機能の整備や改修の進捗状況について伺う

2 浜田市での有機農業生産者の現況について

(1) 有機農業振興計画について

- ① 生産者の要望は反映されたものか伺う
- ② 消費者の購入理由について調査した事はあるのか伺う
- ③ 環境に優しく、次世代のために取り組むべき農業だと思いが所見を伺う

3 水産都市浜田が持続するための次の手について

(1) 水産業のこれからについて

- ① 低脂質高タンパクの優れた食材である魚の消費を増やす方策について伺う
- ② 藻類バイオマスの研究施設の誘致について伺う

(2) 浜田沖海洋資源開発に伴う、港の再開発について

- ① 天然ガス陸上受入基地とパイプラインでの供給先のシミュレーションの計画があるのか伺う
- ② 二酸化炭素(CO₂)を回収し海底に貯留する技術(CCS)が実現の段階に入り、有望な地層が日本海沿岸の海底にあると唱えられているが、上記の天然ガス受入基地と併せてロードマップを描くべきではないのか、考えを伺う

発言No. 16

受付No. 15

令和 4 年 6 月 7 日
10 時 05 分 受付

一 般 質 問 発 言 通 告 書

議席番号 2 番 氏名 村 木 勝 也

答弁を求める者 市長 教育長 監査委員 選挙管理委員会委員長
(○をつける) 農業委員会会長 固定資産評価審査委員会委員長 公平委員会委員長

発言項目及び要旨

1 「マイ・タイムライン」の活用について

(1) 地域における防災教育の推進について

- ① 地域の防災活動の中心となるリーダーの育成を浜田市はどのように取り組んでいますか。
- ② 参加型・体験型の実践的な防災活動を浜田市どのように展開されていますか。
- ③ 地区防災計画の作成状況を伺います。
- ④ 市民が防災情報を主体的に入手することができる仕組み、制度を伺います。

(2) 市による避難情報の適切な発令に向けた対応について

- ① 令和4年度当初予算の予算決算委員会でお聞きした「防災無線等施設維持管理費」で市はどのような情報や関係機関から支援を受けることができるのか伺います。
- ② 防災安全課において、どのような手順や基準で避難情報を発令するのですか。
- ③ 令和4年度一般会計補正予算(第1号)でお聞きした「防災情報等配信システム導入事業」の進捗状況をお聞きします。
- ④ 携帯電話通信エリア外における浜田市の対応をお聞きします。

(3) 平時における取組について

- ① 広報はまだ6月号や防災ハザードマップに掲載している「マイ・タイムライン」の意義や必要性をお聞きします。
- ② 「マイ・タイムライン」作成に係る市の取り組み状況をお聞きします。
- ③ 避難行動要支援者の個別避難計画の作成を今後どのように進めていくのかお聞きします。

(4) 都市公園(運動公園)施設における避難について

- ① 都市公園(運動公園)において、特に早期段階での避難は、有効であると考えますが、いかがでしょうか。
- ② 公園によっては、体育館を有している施設もありますが、避難所を開くタイミングはいつでしょうか。
- ③ 同公園に防災行政無線屋外子局が設置されていますか。また、管理棟から同公園施設内に一斉に放送(周知)できる設備がありますか。